

「坂戸市デジタル行政推進計画」（素案）に対する市民コメントの結果について

- 1 意見募集期間 令和2年1月20日（月）～2月18日（火）
- 2 意見提出者 1名 11件
- 3 ご意見・ご提案及び回答

No	様式・項目等	ご意見・ご提案	対応
1	第1章	計画の策定にあたって （3）本市の課題 ①スマート自治体への転換 高齢化によって、我が地区も自治会に加入しない無 関心世帯が増えており、限界集落化が加速していま す。身の丈にあった自治体を目指して下さい。	今後の人口減少社会を踏まえ、行政サービスの維持 を図るため、最先端のICTを活用し、業務を人から コンピュータに置き換えるなど、効率的な行政を目指 します。
2	第1章	②行政手続等のデジタル化への対応 令和4年には、ほとんどの住民がマイナンバーカー ドを保有していることが想定された取組が国策とし て進められており・・・ 13.19%→100%の方策が何も示されていな い。	マイナンバーカードの交付率向上に対する方策に つきましては、別途策定されております、「マイナンバ ーカード交付円滑化計画」に基づき、推進しておりま す。
3	第3章	施策の推進 ①マイナンバーカードの活用 R元年度14,600枚→R4年度90,800枚 最終年度に数合わせしたのでは？	国によるマイナンバーカード交付想定枚数から、本 市における、令和4年度の枚数を想定しております。

No	様式・項目等	ご意見・ご提案	対応
4	第3章	住民基本台帳カードはなんだったのか？	<p>住民基本台帳カード及びマイナンバーカードの交付は、国策で進められたものであります。住民基本台帳カードは身分証、行政手続にのみ利用できるものでありましたが、マイナンバーカードは住民基本台帳カードの機能に加え、民間等でも利用することができるよう機能拡張された仕様となっております。</p> <p>利便性の高いマイナンバーカードの交付が平成28年1月から開始されたことに伴い、住民基本台帳カードの交付は平成27年12月に終了しております。</p>
5	自由なご意見・ご提案	<p>コミュニティFM局が坂戸市にも設置出来ないかと思っています。埼玉県では、FM CAPPY 77.7MHz、発するFM 84.0MHzの2局があり両局ともインターネットラジオとの同時放送で24時間放送、地域情報を流しています。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、関係課にも共有し、計画策定後、基本方針V「デジタルディバイド対策の推進」などの個別事業の進行管理を推進していく際の参考とさせていただきます。</p>
6		<p>何度、素案を読んでもデジタル行政推進計画の意気込みが伝わってこないのは、何故なのか。</p>	<p>本計画は、我々の想像を超えるスピードで進展しているICTを有効に活用することで、更なる市民サービスの向上や少ない職員でも行政サービスを提供できる「スマート自治体への転換」に向けた基本的な考え方を定めたものでありますので、ご理解をいただきたく存じます。</p>

No	様式・項目等	ご意見・ご提案	対応
7		<p>坂戸市の人口は、ピークを過ぎ減少に転じ、展望人口と他の推計との比較でも示されているように 2035 年には 90,000 人に減少する推計です。</p> <p>デジタル行政推進計画では、具体的人口減に対する具体的内容が何一つ示されていない。(費用対効果が示されていない、職員数を減らすのかにも触れられていない)。</p>	<p>人口減少に伴う労働人口の減少は大きな課題であり、職員数の確保が今後ますます厳しくなることが予想されます。そうしたことを背景に、本市では現状より少ない職員数でも行政サービスが維持できる体制を構築するため、スマート自治体への転換を目指し、具体的な取り組み及び成果目標等を計画に決めました。</p> <p>なお、費用対効果につきましては、毎年度の予算編成を通じて検討を進めていくとともに、計画の進行管理においても検討を進めてまいります。</p>
8		<p>マイナンバーカードが普及しないのは、マイナンバーカードのメリットを感じないからで、職員が率先して交付を受けて職務で使う（例えば職員の ID カードにマイナンバーカードを使う等具体的策を示して欲しい）。</p>	<p>マイナンバーカードを職員の業務用 ID カードとして使うことについては、今後検討してまいります。</p>
9		<p>今後、益々高齢化が進むなかで、高齢者とのデジタル行政とのインターフェースが示されていないのは、残念です。</p>	<p>本計画では、高齢者などの年齢に対する施策分けは行っておりませんが、年齢にかかわらず、情報通信機器を容易に利用できる方とそうでない方との間で生じる情報格差に配慮した取り組みを推進してまいります。</p>

No	様式・項目等	ご意見・ご提案	対応
10	自由なご意見・ご提案	システム構築には大きな費用が掛かります。費用対効果を見極める必要があるのではないか。	<p>システムの運用につきましては、基本方針Ⅳのとおり、低コスト化に向けた取り組みを進めてまいります。</p> <p>また、費用対効果につきましても、毎年度の予算編成を通じて検討を進めていくとともに、計画の進行管理においても検討を進めてまいります。</p>
11	自由なご意見・ご提案	市役所の窓口業務を効率化するより、高齢者が窓口に行かなくても必要な処理ができる方が高齢者にはありがたい。	マイナンバーカードの活用や電子申請手続の機能を拡張するなど、市役所に来庁しなくても、手続きが完了するよう、行政手続等のデジタル化への対応を進めてまいります。